

2025 年 7 月 24 日

報道関係者各位

GMO インターネット株式会社

国内クラウド事業者初！(※1)
「ConoHa VPS byGMO」が MCP に対応
～AI との対話で、VPS サーバー環境構築のバンプコーディングを可能に～

GMO インターネットグループの、GMO インターネット株式会社（代表取締役 社長執行役員：伊藤 正 以下、GMO インターネット）が提供する「ConoHa VPS byGMO」（URL：<https://www.conoha.jp/vps/>、以下「ConoHa VPS」）は、2025 年 7 月 23 日より、国内クラウド事業者が提供する VPS サービスとして初めて、AI 連携技術「MCP (Model Context Protocol)」に対応したベータ版機能を公開しました。

MCP は、生成 AI や大規模言語モデル（LLM）を活用した、自然言語での問い合わせが可能な AI エージェント^(※2)と、外部データソースやツールとの連携を標準化するための新たなオープンプロトコルです。

これにより、「ConoHa VPS」の操作や設定がコマンドラインや専門知識に依存せず、コードを書く代わりに、感覚的・直感的に AI と自然言語で対話しながら環境構築やサーバー運用を行う、バンプコーディング^(※3)を用いた次世代のサーバー環境構築手法を提供します。



(※1) VPS を提供する国内クラウド事業者が公表する情報をもとに自社調べ（2025/7/24 時点）。

(※2) AI エージェントとは、「人間の代わりに考えたり、判断したりしながら、特定のタスクを自動で実行してくれる AI プログラム」のこと。

(※3) バンプコーディングとは、AI と自然言語で対話することで、コード不要で直感的に操作や作業を実行する手法です。

【提供の背景】

VPS サーバー（仮想専用サーバー）は、Web サイトやアプリケーションの運用、開発環境の構築、企業システムのインフラ基盤として、現代のデジタル社会にとって欠かせない存在となっています。従来、VPS サーバーの管理において、WebUI (Web User Interface)による管理は直感的で使いやすい反面、他のツール

ルとの連携ができず、複数のサーバーを一括管理する際の自動化が困難でした。コマンドラインを用いて操作する場合、自動化やスクリプト化が可能ですが、複雑なコマンド体系や専門知識が必要となります。

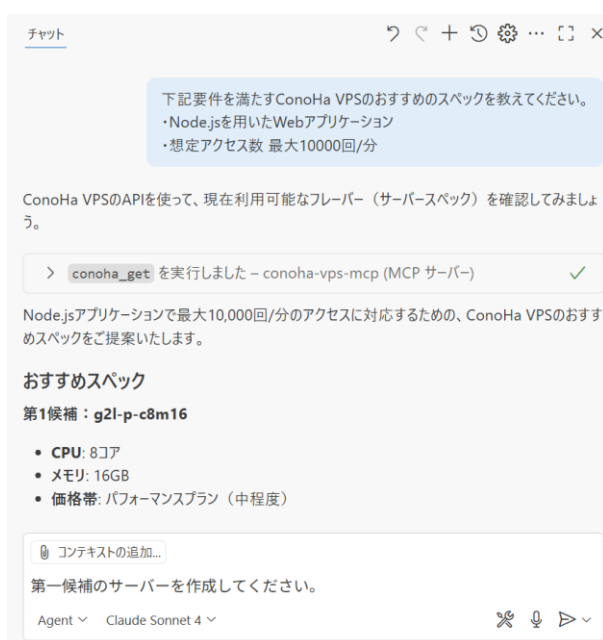
そこで、WebUI の使いやすさとコマンドラインの柔軟性・自動化能力を兼ね備えた新たなアプローチとして、国内クラウド事業者として初めて AI エージェントとの自然言語の対話によってサーバー運用を可能とする「ConoHa VPS」の MCP に対応したベータ版機能を開発し、GitHub（https://github.com/gmo-internet/conoha_vps_mcp）上にオープンソースとして公開いたします。MCP により、自然言語での指示をサーバー操作に変換し、複雑な設定も対話的に実行できるようになります。これにより、専門知識がなくても効率的にサーバー管理が可能となります。

【「ConoHa VPS」の MCP 対応について】

今回の MCP 対応により、「ConoHa VPS」のサーバー環境構築で実現できる主な特長は以下のとおりです。

特徴	説明
完全日本語対応	「ConoHa VPS」のリソースを、日本語で直感的な操作が可能。
AI エージェントとの連携で作業を効率化	Claude や GitHub Copilot など、主要な AI エージェントと連携し、操作や構成の提案をサポート。
API で一括管理	サーバーやネットワークなどの設定を、統一された API で一括管理。
幅広い開発環境に対応	npm パッケージ・Docker による起動をサポート。
セキュリティ対策	OpenStack 準拠のセキュリティ機能を装備。

これらの特長により、AI エージェントを活用することで、サーバーの作成や削除といった操作を、より直感的に行えるようになります。たとえば、「4 コアのサーバーを 1 個作って」とユーザーが入力すると、AI がユーザーに代わり、新規サーバーを自動で構築します。この仕組みにより、従来必要だったコマンドライン操作や API 知識がなくても、直感的なサーバー運用が可能になります。さらに、「おすすめのサーバー構成を教えて」と指示すれば、AI が用途に応じて CPU・メモリ・ストレージの最適な組み合わせを分析し、最適な構成を提案します。提案された構成をそのまま用いて、スムーズにサーバー作成へと移行することも可能です。



▲AI エージェント「GitHub Copilot」での操作画面



▲セットアップのフロー

【今後の展開】

「ConoHa VPS」の MCP 対応により、従来の操作手法にとらわれない、自由度の高い活用が可能となりました。今後はさらに多くの API や操作対象へ対応し、よりインテリジェントなサーバー管理機能の実装を進めてまいります

GMO インターネットは今後も、AI 時代にふさわしい次世代サーバーインフラの実現に向けた、開発・提供に積極的に取り組み、機能強化と情報発信を続けてまいります。

【「ConoHa VPS」について】

「ConoHa VPS」は、登録者数 75 万アカウントを超える^(※4)「ConoHa byGMO」が提供する、GMO インターネットの VPS サービスです。日本国内のデータセンターに最新の CPU と超高速な NVMe SSD^(※5)を採用し、高性能なサーバー環境を実現しました。分散型ストレージ構成^(※6)を採用している他、自動フェイルオーバー機能(HA 機能)^(※7)を標準で搭載しており、可用性の高い環境となっています。さらに初期費用は無料で、データ転送量に対する課金は一切ありません。料金形態は、1 時間単位で利用できる「時間課金タイプ」の他、長期契約をいただくことでおトクな割引料金になるサービス「まとめトク」の 2 種類をご用意しておりますので、必要なときに最小限のコストからお使いいただけます。「まとめトク」をご利用の方へは、SSL 国内シェア No.1 の GMO グローバルサイン社が発行する SSL サーバー証明書「アルファ SSL」の無料提供実施^(※8)や、DDoS 対策の強化を行う^(※9)など、セキュリティ面でもお客様へ貢献いたします。2025 年 6 月 16 日からは、株式会社ビヨンドと連携しサーバーの移設や構築、保守など、サーバー運用をすべて委託可能な「ConoHa VPS byGMO マネージドパック」を展開しています^(※10)。

(※4) 2025 年 7 月 23 日現在。

(※5) NVMe SSD は、データの読み書き速度が非常に速いストレージデバイスです。SSD に最適化された通信プロトコル「NVMe」を採用しているため、従来の SATA SSD に比べ、低遅延・高スループットなアクセスが可能です。

(※6) 複数のノードにデータを分散して保存することで、万が一ハードウェア障害が発生してもデータの損失を防ぐものです。

(※7) 万が一、仮想サーバーを収容しているホストサーバーが物理障害を起こした場合でも、別のホストサーバーへ自動的に移行し、同様の環境を構築いたします。これにより、障害発生時の影響を最小限に抑え、安定したサーバー運用を実現できます。

(※8) (<https://www.conoha.jp/vps/news/?&ap=2015053759>) 参照。

(※9) (<https://www.conoha.jp/vps/function/ssl/alpha-ssl/>) 参照。

(※10) (<https://www.conoha.jp/vps/for-corporations/#service>) 参照。

【「ConoHa byGMO」について】 (URL : <https://www.conoha.jp/>)

「ConoHa byGMO」は、国内ホスティングシェア No.1^(※11) を誇る GMO インターネットグループのホスティングサービスで、ブログや HP 作成に最適な国内最速^(※12) レンタルサーバー「ConoHa WING」をはじめ、よりサーバーを自由にカスタマイズ・構築することが可能な



「ConoHa VPS」、Windows OS をご利用される方向けの「ConoHa for Windows Server」、ゲームテンプレートが無料で使えるゲームユーザー向けの「ConoHa for GAME」、ブラウザだけで本格的な AI 画像生成を楽しめる「ConoHa AI Canvas」など、お客様のご利用目的に応じて最適なサービスをお選びいただけます。初期費用無料で"簡単"、"使いやすく"を徹底的に追及したサービスとなっており、サーバーを初めてご利用いただく方から個人事業主、法人まで幅広くご利用いただいております。

(※11) 業界のシェアは ipinfo.io をもとに算出しております。ipinfo.io は、IDB LLC 社が運営する IP アドレスに紐づいた地理情報などを確認できるウェブサイトです。

(※12) 2025 年 7 月時点、自社調べ。日本国内シェア 90%以上を占めたトップ 10 サービスにおいて、各サービス最下位プランのサーバー処理速度を、負荷テストツール「Apache Bench」「h2load」で 5 回計測した平均値を比較。国内シェアは、Webhosting.info および DomainTools をもとに算出。

以上

【報道関係お問い合わせ先】

- GMO インターネット株式会社
広報担当 福井
TEL : 090-5313-9226
お問い合わせ :
<https://internet.gmo/contact/press/>

- GMO インターネットグループ株式会社
グループ広報部 PR チーム 小犬丸
TEL : 03-5456-2695
お問い合わせ :
<https://www.group.gmo/contact/press-inquiries/>

【サービスに関するお問い合わせ先】

- GMO インターネット株式会社
ConoHa 事業部 松井
お問い合わせ : info@conoha.jp

【GMO インターネット株式会社】(URL : <https://internet.gmo/>)

会 社 名	GMO インターネット株式会社 (東証プライム市場 証券コード : 4784)
所 在 地	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号 セルリアンタワー
代 表 者	代表取締役 社長執行役員 伊藤 正
事 業 内 容	■インターネットインフラ事業 ドメイン登録・販売 (レジストラ) 事業 クラウド・レンタルサーバー (ホスティング) 事業 インターネット接続 (プロバイダー) 事業 ■インターネット広告・メディア事業
資 本 金	5 億円

【GMO インターネットグループ株式会社】（URL : <https://group.gmo/>）

会 社 名	GMO インターネットグループ株式会社 （東証プライム市場 証券コード：9449）
所 在 地	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号 セルリアンタワー
代 表 者	代表取締役グループ代表 熊谷 正寿
事 業 内 容	持株会社（グループ経営機能） ■グループの事業内容 インターネットインフラ事業 インターネットセキュリティ事業 インターネット広告・メディア事業 インターネット金融事業 暗号資産事業
資 本 金	50 億円

Copyright (C) 2025 GMO Internet, Inc. All Rights Reserved.